

こまぼんの なるほど!

みなと講座

～港湾・空港のことをもっと知っていただくために～



ばくの名前は「こまぼん」。小松島港湾・空港整備事務所のマスコットキャラクターだよ。タヌキの耳としっぽが目印。一般公募によって名前がつけられたんだ。

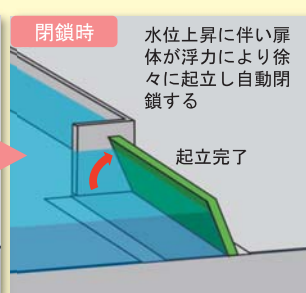
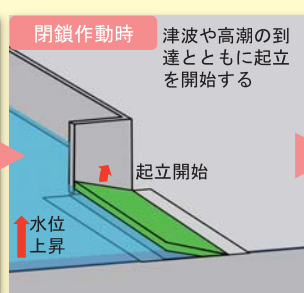
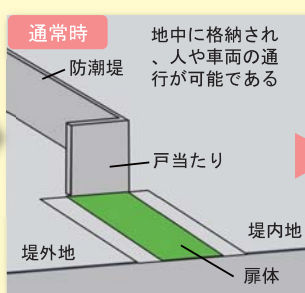
—第32回—

【津波を自動的にシャットアウト:大型浮体式防潮堤「フラップゲート式陸閘」の紹介】

フラップゲート式陸閘は、これまでの陸閘とは異なる原理で作動する新しい構造の陸閘で、高潮や津波により海水が浸入しようとする、扉体に働く浮力や水圧で自ら立ち上がり、閉鎖する事が可能となっています。



↑ 通常の陸閘(手動)



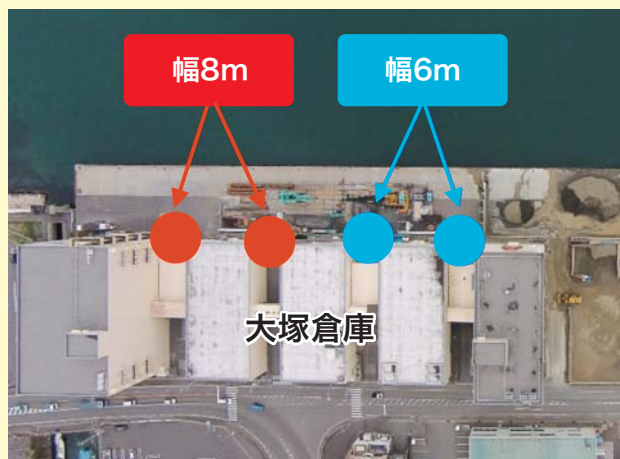
↑ フラップゲート式陸閘のイメージ

フラップゲート式陸閘の設置による効果としては、

- ①危険を冒してまで閉扉する必要がなく避難を優先できる。
- ②水位上昇するまで避難通路が確保できる。
- ③日常は地中に格納された状態であり人や車両が通行可能である。
- ④無動力のため停電時も可動する。

などが挙げられます。

撫養港海岸保全施設整備事業では起立後の高さが1.9mになるフラップゲート式陸閘を、大塚倉庫の4箇所の通路部にそれぞれ、幅6mのものを2基、幅8mのものを2基の計4基設置する事としています。



↑ フラップゲート式陸閘の設置位置



↑ フラップゲート式陸閘(通常時)



↑ フラップゲート式陸閘(閉鎖時)